

オフィシャル ソフトボール ルール

ルール11 抗議

11-1項 抗議できない場合

1. 投球がストライクかボールか。
2. 投球が正しいか不正か。
3. 打球がフェアかファウルか。
4. 打球がフェンスを越えたかどうか。
5. 飛球が捕られたかどうか。
6. 飛球がインフィールドフライかどうか。
7. 走者がアウトかセーフか。
8. 走者が塁に触れたかどうか。
9. 走者のタッチアップが早過ぎたかどうか。
10. 守備妨害かどうか。
11. 打撃妨害・走塁妨害かどうか。
12. プレイヤーまたは球が競技場外に出たかどうか。
13. 試合を続行したり、再開するのに適しているか。
14. 試合を続行するのに十分な照明があるかどうか。
15. 単に審判員の判定の正確性という点に含まれている、いろいろな事項。

(注) 本項の判定内容について、チームは説明を求めることは出来ないし、審判員もこれに応じてはならない。

11-2項 抗議できる場合

1. プレイングラールの解釈の間違い。
2. 審判員のルールの適用の間違い。
3. 違反に対するペナルティ適用の間違い。
4. チームメンバーの適格性。

(注) 試合中、抗議できるのは監督だけである。プレイヤーには抗議権はない。

【鹿児島県ソフトボールスポーツ少年団連絡協議会のローカルルール】

- 1、コールドゲームについては、5回7点差のみを用いる。
- 2、サングラスの使用については、使用禁止とする。ただし、医療目的は除く。
- 3、スパイクの色については、チームで統一するのが望ましい。

指導者の資格と種類

	認定団体名	資格・免許・講習会	備 考
1	日本スポーツ協会 スポーツ指導者基礎資格	コーチングアシスタント (旧 認定員)	認定員制度は終了となりました。2023年度までに所定の手続きを行えば、JSPO公認のコーチングアシスタントに移行することができる。
2		(旧 育成認定員)	
3			JSPO公認スポーツ指導資格(移行不要)
4		スタートコーチ	少年団を結成する為に2名以上の有資格者が必要。
5	日本スポーツ協会 競技別指導者資格	ソフトボールスタートコーチ	協会主催の大会参加に必要な資格。4年毎に更新。
6		ソフトボールコーチ1	子供たちの指導など・・・準指導員が4年以内に更新できる。
7		ソフトボールコーチ2	学校運動活動や少年団活動の監督・コーチ等。
8		ソフトボールコーチ3	トップリーグ・実業団等の競技力向上にあたる。
9		ソフトボールコーチ4	国際レベルの競技力向上・競技者の育成強化。
10	県ソフトボール協会	KSA鹿児島県指導員	中学生以上の県内までの試合参加に必要な資格。
11	日本ソフトボール協会	公認審判員	1種・2種・3種のランクがある。国体に向けて3種有資格者には2種取得を推奨している。
12		公認記録員	ソフトボール協会主催の大会にスコアラーとしてベンチに入る為に必要。
13		ソフトボール準指導員	全日本大会(協会主催)等の参加に必要な。取得後、4年以内にソフトボールコーチへの移行が必要。